

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東
 コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)志藤 健
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 (TEL)045(543)6802
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	41,423	△3.3	1,349	5.6	1,461	△16.4	858	△26.3
30年3月期第1四半期	42,848	3.2	1,278	17.5	1,748	—	1,164	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期△1,307百万円(—%) 30年3月期第1四半期 843百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	36.11	35.50
30年3月期第1四半期	49.00	48.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	173,659	94,782	45.0
30年3月期	175,083	97,015	45.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 78,071百万円 30年3月期 79,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	25.00	—	34.00	59.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	29.00	—	30.00	59.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,500	△2.6	2,600	△17.4	2,800	△28.0	1,600	△38.1	67.31
通期	171,000	△0.3	6,400	6.1	6,300	11.5	4,000	47.2	168.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	25,055,636株	30年3月期	25,055,636株
31年3月期1Q	1,285,877株	30年3月期	1,285,877株
31年3月期1Q	23,769,759株	30年3月期1Q	23,769,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおりアナリスト・株主向け工場見学会を開催する予定です。

・平成30年9月26日(水)・・・機関投資家・アナリスト向け工場見学会

開催場所 (株)ヨロズ大分

・平成30年10月31日(水)・・・株主向け工場見学会

開催場所 (株)ヨロズ栃木

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では失業率が継続して低水準の状況であり、消費についても堅調に推移いたしました。中国では輸出は好調であったものの、インフラ投資は減速いたしました。また、新興国においては、全体的に内需は堅調に推移いたしました。

一方、日本経済は、堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調となりました。しかし、米国の通商・外交政策、欧州の政治不安、原油価格の動向など引き続き留意が必要な状況が続いております。

当社グループが関連する自動車産業におきましては、米国では、乗用車からライトトラックへの需要のシフトが続いております。また、その他の地域での生産や販売は、おおむね好調に推移しております。一方、国内では新車販売は伸び悩んだものの、輸出の増加に支えられ、生産は横ばいとなりました。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同期比3.3%減の41,423百万円となりました。利益面では、米国テネシー拠点での収益改善などにより、営業利益は前年同期比5.6%増の1,349百万円となりました。経常利益は為替差益が減少したことなどにより、前年同期比16.4%減の1,461百万円となりました。更に親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に加え、米国における法人税率の引き下げに伴う税効果の影響などにより、前年同期比26.3%減の858百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、108.22円/ドル（前第1四半期累計期間113.60円/ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(1) 日本

日本における当社グループの売上高は、金型・設備売上の増加などにより、前年同期比5.3%増の14,848百万円となりました。

営業利益は、金型・設備売上の増加などに伴い、前年同期比19.4%増の1,585百万円となりました。

(2) 米州

米州における当社グループの売上高は、米国やメキシコでの生産の減少などにより、前年同期比19.3%減の16,650百万円となりました。

損益面では、米国ヨロズオートモーティブテネシー社（YAT）での大幅な収益改善があったものの、メキシコ2拠点の工場拡張による償却費負担増などが影響し、前年同期に比べ4百万円減の714百万円の営業損失となりました。

(3) アジア

アジアにおける当社グループの売上高は、中国での生産の増加などにより、前年度同期比17.3%増の14,979百万円となりました。

営業利益は、タイでの収益改善などにより、前年同期比17.4%増の776百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ299百万円増加の69,890百万円となりました。これは、「製品」が3,311百万円増加したものの、「仕掛品」が2,908百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ1,723百万円減少の103,769百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「建物及び構築物」が733百万円、「機械装置及び運搬具」が764百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ1,424百万円減少の173,659百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ661百万円増加の46,294百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が2,569百万円減少したものの、「電子記録債務」が1,210百万円、「短期借入金」が1,914百万円、「賞与引当金」が608百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ148百万円増加の32,583百万円となりました。これは、「長期借入金」が206百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ809百万円増加の78,877百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,233百万円減少の94,782百万円となりました。これは、「その他の包括利益累計額合計」のうち「為替換算調整勘定」が1,875百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,882	21,192
受取手形及び売掛金	22,287	22,407
電子記録債権	2,060	2,430
製品	4,893	8,204
原材料及び貯蔵品	1,178	933
部分品	3,162	3,204
仕掛品	9,053	6,144
その他	6,081	5,380
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	69,590	69,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,563	19,829
機械装置及び運搬具（純額）	46,855	46,090
その他（純額）	22,703	22,592
有形固定資産合計	90,121	88,512
無形固定資産	541	501
投資その他の資産	14,830	14,755
固定資産合計	105,493	103,769
資産合計	175,083	173,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,982	16,412
電子記録債務	3,735	4,946
短期借入金	12,945	14,860
1年内返済予定の長期借入金	456	259
未払法人税等	291	154
賞与引当金	1,332	1,940
役員賞与引当金	77	97
その他	7,810	7,623
流動負債合計	45,632	46,294
固定負債		
長期借入金	30,187	30,393
退職給付に係る負債	1,513	1,447
その他	735	743
固定負債合計	32,435	32,583
負債合計	78,068	78,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,333	10,329
利益剰余金	68,147	68,197
自己株式	△1,836	△1,836
株主資本合計	82,845	82,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,235	4,246
為替換算調整勘定	△6,723	△8,599
退職給付に係る調整累計額	△504	△466
その他の包括利益累計額合計	△2,992	△4,819
新株予約権	553	553
非支配株主持分	16,609	16,156
純資産合計	97,015	94,782
負債純資産合計	175,083	173,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	42,848	41,423
売上原価	38,162	36,595
売上総利益	4,685	4,827
販売費及び一般管理費	3,407	3,477
営業利益	1,278	1,349
営業外収益		
受取利息	101	71
受取配当金	116	134
為替差益	433	45
その他	30	36
営業外収益合計	681	287
営業外費用		
支払利息	68	173
子会社開業準備費用	141	—
その他	1	1
営業外費用合計	211	175
経常利益	1,748	1,461
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	2	5
減損損失	8	3
その他	0	—
特別損失合計	10	9
税金等調整前四半期純利益	1,738	1,453
法人税等	367	455
四半期純利益	1,370	997
非支配株主に帰属する四半期純利益	205	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,164	858

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,370	997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	408	11
為替換算調整勘定	△1,008	△2,359
退職給付に係る調整額	73	43
その他の包括利益合計	△526	△2,305
四半期包括利益	843	△1,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	935	△968
非支配株主に係る四半期包括利益	△91	△339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	9,837	20,468	12,542	42,848
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,264	152	232	4,648
計	14,101	20,620	12,774	47,496
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,328	△710	660	1,279

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,279
セグメント間取引調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,278

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	10,249	16,560	14,613	41,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,598	89	366	5,054
計	14,848	16,650	14,979	46,477
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,585	△714	776	1,647

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,647
セグメント間取引調整額	△298
四半期連結損益計算書の営業利益	1,349